

退職により普通徴収（個人納付）へ変更する場合

記載例

給与支払報告書 特別徴収に係る給与所得者異動届出書

*市処理欄	／ 入力済	年度					
	／ 入力済	年度					
普徴	転勤	一括	1 現年度	2 新年度	3 両年度		

(1) 異動があった場合は、すみやかに提出してください。

令和〇年11月20日 西海市長宛	給与支取義務者 (特別徴収義務者) 氏名 西海 花子 フリガナ サイカイ ハナコ 個人番号 1月1日現在の住所 西海市△△町△-△-△ 給与の支払を受けなくなった後の住所 西海市□□町□-□-□	所在地 857-0000 西海市〇〇町〇-〇-〇 フリガナ カブ サイカイショウカイ	名称 (株) 西海商会	代表者の職氏名 代表取締役 西海 太郎	法人番号又は個人番号	特別徴収義務者指定番号 8XXXXXXX	受給者番号(整理番号) 5	連絡者の係及び氏名 係 經理 氏名 西海 一郎 電話番号 0959-XX-XXXX
給与所得者 フリガナ サイカイ ハナコ 氏名 西海 花子 (旧姓 大島) 個人番号 1月1日現在の住所 西海市△△町△-△-△ 給与の支払を受けなくなった後の住所 西海市□□町□-□-□	(ア) 特別徴収税額(年税額) 48,000円 徴収済月 6月分 徴収済額 24,000円	(イ) 徴収済額 24,000円	(ウ) 未徴収税額(ア)-(イ) 24,000円	異動年月日 29-11-15	異動事由 ①退職 ②転勤 ③休職 ④長病 ⑤死亡 ⑥会社解散 ⑦住所異動 ⑧住所異動	異動後の未徴収税額 1. 特別徴収継続(新勤務先で特別徴収を継続する) 2. 一括徴収(残額を異動者から全額徴収して納入する) 3. 普通徴収(残額を異動者本人が納付する)	備考 一括徴収した税額は〇月分を納入します(〇月 日納期限) 後日、住所地の市役所から本人あてに納付書を郵送します。	

異動した納税義務者の氏名を記入してください。

異動届出書提出時の住所が、特別徴収税額通知書の住所と異なる場合、記入してください。

(特に会社の寮を出られた場合は確認をお願いします。)

該当する3に○を付けてください。
未徴収税額を個人(普通徴収)で納付することになります。

1月1日から退職時までの給与(賞与)等支払額合計と、控除した社会保険料の額を記入してください。

退職手当等の支払がある場合は、退職手当等の源泉徴収票を必ず送付してください。その金額を記入してください。

(2) 給与の支払を受けなくなった後の月割額(未徴収税額)を一括徴収する場合等は、次の欄に記載してください。

一括徴収の理由 1. 異動が令和〇年12月31日までで、申出があったため(月申出) 2. 異動が令和〇年1月1日以後で特別徴収の継続の希望がないため	異動者印	給与又は退職手当等の支払予定日	一括徴収予定額(合計(ウ)との同額) 円	1月1日から4月30日までの間に退職した者は未徴収税額がある場合は一括徴収することが義務づけられています(法321-5)。	相続人代表(死亡退職の場合のみ記入) 住所 氏名 (続柄)	1月1日以降退職時までの給与支払金額 1,897,000円 控除社会保険料額 148,000円	退職手当等の支払金額 4,000,000円 勤続年数 5年
一括徴収できない理由 (○印を付けてください) 1. 5月31日まで支払われる給与若しくは退職手当等がないため又は未徴収税額より少ないため 2. その他理由()			円				

(3) 転勤等による特別徴収届出書 (左欄外の注意書きを参照してください。)

月割額 円 〇月分から徴収し納入する。	給与支取義務者 (特別徴収義務者) 氏名 フリガナ 代表者の職氏名印 法人番号又は個人番号	所在地 郵便番号	特別徴収義務者指定番号 新規	連絡者の係及び氏名 氏名 電話番号 電話	特別徴収に係る納入書の送付 必要・不要
給与の支払方法及びその期日	*市処理欄 変更 ／ 入力済 連絡済 月分 円	新規 ／ 入力済 月分 円	審査		

特別徴収税額通知書に記入された年税額を記入してください。

異動までの徴収済月分および徴収済額を記入してください。

異動のため、徴収できない税額を記入してください。

異動事由が死亡の場合は、相続人の住所・氏名を記入してください。

該当する事由に、○をつけてください。